



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月13日

上場会社名 マックスバリュ西日本株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8287 URL <http://www.maxvalu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 伊渡村 直樹 TEL 082 (535) 8500
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績 (2020年3月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	421,365	4.4	5,464	—	5,792	—	3,468	—
2020年2月期第3四半期	403,551	95.4	△176	—	△27	—	△881	—

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 4,127百万円 (—%) 2020年2月期第3四半期 △1,652百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	66.05	65.99
2020年2月期第3四半期	△16.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	255,249	101,455	39.7	1,930.70
2020年2月期	265,429	99,353	37.4	1,890.06

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 101,416百万円 2020年2月期 99,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期 (予想)	—	—	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年2月期の連結業績予想 (2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	3.1	8,300	202.6	8,600	171.1	3,000	—	57.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日 (2021年1月13日) 公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	52,541,954株	2020年2月期	52,513,854株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	13,522株	2020年2月期	13,379株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	52,509,902株	2020年2月期3Q	52,495,633株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1. 2021年2月期第3四半期の個別業績(2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	205,231	5.9	1,787	—	1,998	—	1,275	—
2020年2月期第3四半期	193,757	△6.1	△737	—	△538	—	△676	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	24.30	24.27
2020年2月期第3四半期	△12.89	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	145,984	98,319	67.3	1,871.00
2020年2月期	143,405	99,860	69.6	1,900.81

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 98,280百万円 2020年2月期 99,793百万円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年11月30日)のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により経済活動並びに個人消費が制約され、景気は急速に減速いたしました。緊急事態宣言解除後は持ち直しの動きが見られるものの、依然として新規感染者数は増加を続け、感染拡大の脅威は衰えることなく人の移動自粛や飲食店の営業時間短縮が再要請されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、お客さまならびに従業員の安全・安心を最優先に地域のお客さまの「食」を支えることを重要な使命と考えており、次のような施策を実施してまいりました。営業面では、店舗出入口にアルコール消毒液の設置、従業員の毎日の体調確認とマスク着用ならびに非接触型検温器の設置、またレジまわりへの飛沫防止シートの取り付け、お客さま同士のキープディスタンスの呼び掛けといった店舗でのあらゆる感染防止対策を講じながら営業してまいりました。

商品面では、お客さまの「食」に対する行動様式が大きく変化し、外食を控え家庭内で調理をする「内食」需要が増加したことで野菜、鮮魚、畜肉といった生鮮食料品をはじめ、冷凍食品やインスタント食品など簡便調理商品の販売点数が伸びました。また年度方針である「基本の徹底」を柱として、旬商品や売れ筋など重点商品の売り込みによる販売点数の拡大、「地元の味」にこだわった地域・地場商品の品ぞろえ拡大に取り組みました。売上高伸長率は下半期に入り緩やかになってきているものの、既存店売上高は前年を上回る業績が続いております。

新規出店は、前四半期までの4店舗に引き続き、マックスバリュ西日本株式会社(以下「マックスバリュ西日本」)では10月10日にマックスバリュ上田中店(山口県下関市)、10月17日にザ・ビッグ綾羅木店(山口県下関市)、株式会社マルナカ(以下「マルナカ」)では9月11日にマルナカ高瀬店(香川県三豊市)をオープンいたしました。

一方、前四半期までに閉店いたしました8店舗に引き続き、マックスバリュ西日本では9月30日にザ・ビッグ安岡店(山口県下関市)、マルナカでは9月27日にマルナカ立花店(愛媛県松山市)、10月23日にマルナカ仁井田店(高知県高知市)、株式会社山陽マルナカ(以下「山陽マルナカ」)では10月4日に山陽マルナカ鴨方店(岡山県浅口市)を閉店いたしました。

既存店のリニューアルは、前四半期までの8店舗に引き続き、マックスバリュ西日本では9月11日にマックスバリュ養父店(兵庫県養父市)、9月12日にザ・ビッグ上板店(徳島県板野郡)、9月19日にマックスバリュ相生南店(兵庫県相生市)、10月24日にマックスバリュ安室店(兵庫県姫路市)、11月14日にザ・ビッグ多度津店(香川県仲多度郡多度津町)、マルナカでは9月5日にマルナカ三木店(香川県木田郡三木町)、10月9日にマルナカ土佐山田店(高知県香美市)、10月16日にマルナカ土居田店(愛媛県松山市)、10月29日にマルナカ今治桜井店(愛媛県今治市)、11月27日にマルナカ清住店(愛媛県松山市)、山陽マルナカでは10月15日に山陽マルナカマスカット店(岡山県倉敷市)のリニューアルを実施いたしました。

地域社会貢献活動の取組みとしましてマックスバリュ西日本では、兵庫県宍粟市においてハリマ農業協同組合より移動販売事業を継承し、10月5日よりマックスバリュ山崎店(同市)を拠点とした移動販売を新たに開始いたしました。1週間で約130か所にて生鮮品や日用雑貨を販売しております。これからも地域のお客さまにお買物の楽しさを感じていただくために、魅力ある商品の品揃えとサービスレベルの向上に取り組みながら、多様なニーズに対応したお買物手段を提供してまいります。また、当社グループでは新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動ができなくなった地域の方々に、商品の販売や活動場所の提供を行っております。マックスバリュ本郷店(広島県三原市)では、店舗駐車場に特設会場を設け、三原特別支援学校の生徒によるカフェ、木工実演などの活動や、各団体によるハンドメイド雑貨や野菜、手作りパンの販売など「地域ふれあいイベント」を実施いたしました。広島県内のマックスバリュ9店舗では、観光農園としての営業、商品の直売がほとんど出来ない状況となってしまった株式会社木下ファームのぶどうを積極的に販売協力いたしました。

このような取組みの結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高4,146億62百万円(対前年同期比4.5%増)、営業収益4,213億65百万円(同4.4%増)、営業利益54億64百万円(前年同期は1億76百万円の営業損失)、経常利益57億92百万円(同27百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億68百万円(同8億81百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ84億90百万円減少し、645億91百万円となりました。これは主に、現金及び預金が14億8百万円、関係会社預け金が50億円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ16億89百万円減少し、1,906億57百万円となりました。これは主に、有形固定資産が20億34百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ68億67百万円減少し、1,004億75百万円となりました。これは主に、設備関係支払手形が11億98百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が101億60百万円減少したことによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ54億15百万円減少し、533億17百万円となりました。これは主に、その他に含まれていた子会社における退職給付制度移行に伴う未払金が42億39百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ21億2百万円増加し、1,014億55百万円となりました。これは主に、利益剰余金が14億73百万円、その他有価証券評価差額金が5億69百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前年同四半期末に比べ96億39百万円減少し、269億56百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動により獲得した資金は20億41百万円（前年同四半期連結累計期間は200億60百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上52億21百万円、減価償却費の計上77億68百万円、仕入債務の減少101億60百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動により使用した資金は53億56百万円（前年同四半期連結累計期間は49億54百万円の獲得）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出55億3百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動により使用した資金は30億93百万円（前年同四半期連結累計期間は107億97百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額19億95百万円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想は、2020年10月7日に公表いたしました連結業績予想の連結営業収益及び同営業利益、同経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が想定を上回る見通しとなったため、通期の業績予想を修正いたしました。詳細については本日（2021年1月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,365	26,956
受取手形及び売掛金	1,779	1,713
商品	21,441	22,584
貯蔵品	182	227
関係会社預け金	5,000	—
その他	16,312	13,109
流動資産合計	73,081	64,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	61,342	60,691
土地	81,690	81,243
その他(純額)	15,274	14,337
有形固定資産合計	158,307	156,272
無形固定資産	159	169
投資その他の資産		
投資有価証券	12,371	13,261
その他	21,509	20,954
投資その他の資産合計	33,880	34,215
固定資産合計	192,347	190,657
資産合計	265,429	255,249
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,917	47,757
短期借入金	2,720	2,500
1年内返済予定の長期借入金	21,712	21,606
未払法人税等	1,024	1,378
賞与引当金	1,756	2,432
役員業績報酬引当金	52	58
店舗閉鎖損失引当金	98	68
損害補償損失引当金	6	—
設備関係支払手形	1,049	2,247
その他	21,004	22,425
流動負債合計	107,342	100,475
固定負債		
長期借入金	40,357	39,688
店舗閉鎖損失引当金	4	23
役員退職慰労引当金	197	58
退職給付に係る負債	1,378	1,281
資産除去債務	5,966	5,820
その他	10,829	6,444
固定負債合計	58,733	53,317
負債合計	166,076	153,793

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,705	1,724
資本剰余金	60,017	60,079
利益剰余金	32,098	33,572
自己株式	△17	△17
株主資本合計	93,804	95,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,917	6,486
退職給付に係る調整累計額	△492	△428
その他の包括利益累計額合計	5,424	6,057
新株予約権	66	39
非支配株主持分	57	—
純資産合計	99,353	101,455
負債純資産合計	265,429	255,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	396,866	414,662
売上原価	299,989	310,664
売上総利益	96,877	103,998
その他の営業収入	6,685	6,702
営業総利益	103,562	110,700
販売費及び一般管理費	103,739	105,236
営業利益又は営業損失(△)	△176	5,464
営業外収益		
受取利息	10	4
受取配当金	212	238
その他	185	295
営業外収益合計	408	537
営業外費用		
支払利息	166	150
遊休店舗地代	9	7
その他	84	51
営業外費用合計	259	209
経常利益又は経常損失(△)	△27	5,792
特別利益		
固定資産売却益	4	141
損害補償損失引当金戻入額	66	—
受取保険金	101	—
投資有価証券売却益	—	127
特別利益合計	172	268
特別損失		
固定資産除却損	66	17
固定資産売却損	5	7
減損損失	267	707
店舗閉鎖損失	16	31
店舗閉鎖損失引当金繰入額	18	73
投資有価証券売却損	—	3
退職給付制度終了損	742	—
特別損失合計	1,117	840
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△972	5,221
法人税、住民税及び事業税	662	1,805
法人税等調整額	△739	△78
法人税等合計	△77	1,727
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△895	3,493
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	25
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△881	3,468

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△895	3,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△712	569
退職給付に係る調整額	△44	64
その他の包括利益合計	△756	633
四半期包括利益	△1,652	4,127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,638	4,101
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	25

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△972	5,221
減価償却費	7,644	7,768
減損損失	267	707
のれん償却額	47	0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△123
固定資産除却損	66	17
固定資産売却損益(△は益)	1	△134
退職給付制度終了損	742	—
受取保険金	△101	—
店舗閉鎖損失	16	31
賞与引当金の増減額(△は減少)	△332	675
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	9	5
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△21	△10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,496	△4
退職給付制度移行に伴う未払金の増減額(△は減少)	5,676	△1,499
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△28	△138
受取利息及び受取配当金	△223	△242
支払利息	166	150
売上債権の増減額(△は増加)	△669	66
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,520	△1,187
仕入債務の増減額(△は減少)	16,900	△10,160
未払消費税等の増減額(△は減少)	172	△184
未払金の増減額(△は減少)	887	△1,472
未収入金の増減額(△は増加)	△4,431	2,450
その他	2,666	1,220
小計	21,465	3,157
利息及び配当金の受取額	218	238
利息の支払額	△160	△145
法人税等の支払額	△1,565	△1,208
保険金の受取額	101	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,060	2,041
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,710	△5,503
有形固定資産の売却による収入	18	480
無形固定資産の取得による支出	△15	△27
差入保証金の差入による支出	△251	△194
差入保証金の回収による収入	393	436
預り保証金の受入による収入	215	125
預り保証金の返還による支出	△479	△276
投資有価証券の売却による収入	—	189
事業譲渡による収入	1,561	—
関係会社貸付金の回収による収入	13,000	—
その他	△778	△586
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,954	△5,356
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△997	△1,995
短期借入金の増減額(△は減少)	△3,854	△220
長期借入れによる収入	12,500	16,950
長期借入金の返済による支出	△18,398	△17,724
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△40
その他	△47	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,797	△3,093
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,217	△6,408
現金及び現金同等物の期首残高	16,475	33,365
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額	5,903	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,595	26,956

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。